

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

なごや  
ちくさ

題字 黒野貞夫

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 愛知厚生年金会館  
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
会長 黒野貞夫  
幹事 山本眞輔  
会報委員長 秋山茂則

No. 19

行動に信念を 信念は行動に

BELIEVE IN WHAT YOU DO

DO WHAT YOU BELIEVE IN

1993～94年度 RI会長 ロバート・R・パース

### 第549回例会 平成5年11月16日(火)晴

◇ “それでこそロータリー”

◇ ビジター紹介 1名

◇ 出席報告

会員 65(64)名 出席 50名

出席率 76.92%

前回 11月9日(修正出席率)100%

◇ お誕生日祝福

松島夫人(11/15)、松居君(11/25)、長門君(12/1)

西村夫人(12/6)

◇ ニコボックス

紙面の都合により次回掲載させていただきます。

◇ 山本幹事報告

1. 本日例会終了後、理事役員会及び指名委員会を開催いたしますので、理事役員の方は2F橋の間にお集まり下さい。

2. 次回例会は29日(月)で秋季家族会を午後4時より中日劇場にて開催いたしますので、30日(火)の例会はございません。

3. 先日大須RC主催の芭蕉句碑再建記念市民俳句大会にて、今西君のお母様の句が第二席中日賞に選ばれました。おめでとうございます。

披かれし翁の句碑に秋日濃し 今西 緑  
11/11付中日新聞朝刊市民版に掲載されました。

◇ 黒野会長挨拶

12日の日展で天皇・皇后両陛下の行幸啓があり、お迎えとお見送りの一員に仲間入りして行ってまいりました。

9時30分雨の降る中を、都美術館長と大山忠作日展理事長の先導で正面入口に到着されました。私のいる第5科書へは9時55分においてになり、静かな足取りで第1室の作品をゆっくりご覧になり、第2室ではケースの中の帖・巻子本の作品をじっとご覧になりました。皇后様は書がお好きだと聞いていましたが、その光栄に浴したのでした。第3室を経て第8室は役員の内閣総理大臣賞、日展会

員賞受賞作品をはじめ審査員の作品を報道関係のカメラのフラッシュライトを浴びてのご鑑賞をされました。大臣賞の甫田鶴川氏にはお言葉があり、作品制作のための素材の選定、書作の苦勞などのご説明に耳を傾けられるひとときが印象的でした。10時5分には次の第4科工芸美術へ、時間が延長するのではないかと考えていましたが、ピタリと5分には次へ。私の師匠の参事宮本竹運には「宮本さんですね。作品はどこにありますか」とお尋ねがあったそうです。「私は日展をもう卒業しましたので、別の室に」と申し上げました。工芸美術一彫刻とご覧になり、お見送りの時「きょうはありがとう。これからもよい作品を発表して下さい。」とお言葉があって10時25分にお帰りになりました。私としては光栄なひとときでした。

### 第2760地区地区年次大会報告

11月6日(土)・7日(日) 於：岡崎市総合体育館  
☆国際奉仕委員長 奥村登喜朗君

I. WCS近況報告

当地区のWCS活動は、日本でも3指に入るほど活発である。

1人当たり分担金(人頭分担金)は1000円。会員総数約6000人で、年間600万円。この資金をベースに、日比愛知ロータリー奨学基金を500万円で、日タイ愛知ロータリー奨学基金を200万円で各々設立し、活動を進めている。

他地区の人頭分担金は0～5000円とバラツキがあり、当地区より高額な地区も有るが、当地区は全クラブが各クラブ独自にもWCS活動に参加しており、平均20万円をこれに拠出している。

尚、明年2月8日～12日に実施する世界社会奉仕比国視察旅行にも各クラブの皆さんの積極的参加をお願いしたいとの事でした。

## II. パネルディスカッション “会員増強と同化について”

### 会員増強について現状説明

- ・年度初め5984人が、8月末には5944人と40人の純減
- ・内訳は、新規加入38人に対し退会78人。名古屋第一分区△19人、名古屋第二分区△14人、東三河分区10人。  
純減実数は名古屋第一分区が最大だが、減少率は名古屋第二分区がトップ。

議論の要旨＝会員増強と同化についての提言

1. 推薦の輪を広げる。
2. 職業分類の見直しを進める。新しい職種への対応を図る。
3. 退会を防ぐ事も重要。  
刈谷RCでは会友制度があり、いつでも復帰の道が残されている。
4. 新人会員への教育、情報提供に努める＝同化と活性化。
5. 推薦者は、新人会員をサポートし、同化に努める。
6. いずれにしても、会長のリーダーシップで、増強、同化、活性化に努めてほしい。

☆三好 親君

### ◎大河原良雄氏講演

日米間の現状説明、そして日本を含んだ将来のアジア諸国と米国とのあるべき姿の説明があり、最後に政府レベルの外交も大切であるが、一番大切なのはロータリーの様な民間レベルの草の根の友好・親善で、これが世界の平和につながっていくのだということでした。

### ◎金RI会長代理の挨拶

非常に流暢な日本語で、相手に対する気配り、心配りを忘れないやさしさあふれるご挨拶でした。印象に残りましたのは、お金・物・言葉だけの奉仕ではなく、心のこもった奉仕が大切だとおっしゃったことで、大変感激しました。

### ◎感激したこと

- ・早朝にもかかわらず、インターチェンジを降りると案内の人が立っておられ、にこやかに挨拶をして頂いたこと。
- ・会員の方が一生懸命やっておられたこと。

### ◎残念なこと

- ・千種RCの参加者が少なかったこと。
- ・どこのRCの方かわからないが、午前中で20余名帰られ、3列の席が空席になったこと。
- ・高速道路で運転が荒っぽかった人が同じ会場でした。
- ・案内人に挨拶をしない人が多かったこと。最後に宮地ガバナナーが少し涙ぐんで謝辞を述べられたのも胸にジーンとききました。これは皆が一生懸命やった結果だと思います。

☆幹事 山本 眞輔君

「結ぼう友情の輪、深めよう地球愛」という大きなテーマのもとで行われた今大会に出席して先ず感じたことはホストクラブの大変なご努力と奉仕ということであった。会場が公共機関からやや離れたところにあり、準備、案内、接待等、大変ご苦労されたことがうかがわれた。本会議の内容はテーマに示されているように二つの大きな流れがあった。一つはクラブの内部の反省と、今後のあり方という、いわば自分達のクラブの存続とひしめきを確認しようとするものである。大会決議案が第8号議案までであったが、第3号と第6号以外は全て対内問題で、ここにもそれがよく示されている。もう一つは、クラブの活動と地域社会とのかかわりをどんなかたちでもつかということである。クラブの内容の充実が地域への奉仕の充実につながるということであろうと思われる。これはフォーラムにおいてもその特徴があらわれていた。各発言者とも、一言でいえば「会員を増やせ、会長・幹事はしっかりせよ」ということであった。具体的な活動については各クラブのおかれた立場を考え各クラブ独自のものを進めてよらしいと解釈すべきであろう。RI会長代理・歓迎晩餐会も盛会であった。金一RI会長代理には個人的に話をして記念の署名をもらったが、やさしい感じのコスモポリタンだなという印象を受けた。RIのメンバーとして我が千種RCの今後のあり方を深く考えさせられた地区大会であった。

R.I 会長代理

金一

1994.11.6.

山本 眞輔

山本 眞輔 氏

### ◇例会変更のお知らせ

名古屋瑞穂RC 12/9(木)年末家族会の為、18時より

### ◇11月度理事役員会議題

1. 年末会員家族懇親会(12/21)の件。
2. 新入会員候補者の件。
3. 1994～95年度理事役員会の件。
4. 次年度IMの件。

### ◇お知らせ

東南RC写真クラブ写真展が11/27～12/4 8時～20時まで(最終日は17時まで)NHK名古屋放送センタービル 2Fロビーにて行われます。是非、お出かけ下さい。

### ◇次回例会(11月29日)

秋季家族会(中日劇場にて16時より)

### ◇次々回例会(12月7日)

友愛の日(立食)